



FLAMINGO

ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/edaminami/>

令和8年8月28日発行
横浜市立荏田南小学校
学校だより 9月号



一生忘れない！ 今年の夏祭り

校長 阿部 千鶴

長い夏休みが終わり、学校に子どもたちの元気な声が戻ってきました。今年の夏は、暑さだけでなく、地震や大雨など、非常変災が目立つ夏となりました。

タウンニュースにも掲載されましたが、夏休み前に本校の6年生対象に都筑区役所の方や地域の方たちが出前授業に来てくださいました。総合的な学習の中で、「地域の人との交流」を促進したいとの6年生の願いに応えてくださり、実現したものです。地域のためにがんばる皆さんの話を聞いて、6年生の子どもたちは、自分たちにできることは何か考えました。

- ・小さな子と交流できる場所を作りたい
- ・多くの人と顔見知りになりたい
- ・なるべく地域の行事に参加する

などの意見が出されました。

そこで、今年の夏祭りで自分たちにも何かできないだろうか、

- PTAが出店している『がらがらくじ』で、お手伝いのボランティアをする
- ゴミステーションでゴミが分別されるよう、呼びかけを行うボランティアをする



6年生の有志がボランティアとして参加する夏祭りが実現しました。

『荏田南夏祭り』当日、あいにくの悪天候となり、急な雨が降ってきましたが、6年生の働きぶりは素晴らしかったです。指示待ちでなく、自分たちで仕事を見つけて気持ちよく働くことができていました。このような子どもたちが大人になり、この地域を支えていくんだと考えさせられる場面でした。どしゃ降りの夏祭りは初めてでしたが、文字通り印象深く、天気とともに一生忘れない夏祭りになったと思います。

さて、長い夏休みが終わる8月下旬から9月上旬、子どもの自殺者がピークを迎えるという報道がなされます。一人ひとりの子どもの命はかけがえのないものです。

日ごろから「あなたは、大切な存在だ」「あなたのことが大好きだ」「何か困ったことがあったら、私はあなたを全力で守る」と伝えながら、子どもの命を守っていきたいです。もしも「死にたいくらいつらいなら、学校なんて来なくていい」と、子どもたちに伝えています。

子どもは、様々なことに全力でがんばっています。ついつい、全力で頑張った子どもに、「あなたならもっとがんばれる！」と言ってしまふことがあると思います。まずは、頑張りを認めて、ほめてあげてください。

子どもの自殺が話題に上るこの時期に、学校、家庭、地域で子どもたちへの接し方、見守り方や言葉のかけ方を見直すきっかけにしていきたいと思っています。